

製品名: YTHDF1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21509**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:61kD;Observed MW:70kD

抗原情報

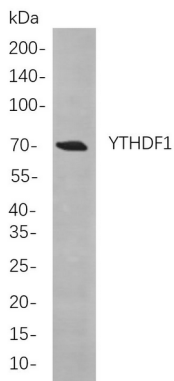
遺伝子名	Ythdf1 C20orf21;DACA 1;DACA-1;Dermatomyositis associated with cancer putative autoantigen
別名	1;YTH domain family 1;YTH domain family member 1;YTH domain family protein 1;YTHD1;YTHD1_HUMAN;Ythdf1;
遺伝子 ID	54915.0
SwissProt ID	Q9BYJ9
免疫原	-

背景

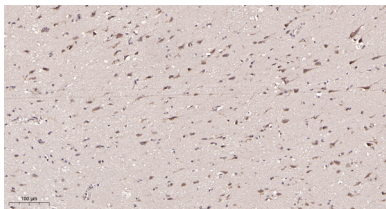
細胞局在: 細胞質。N6-メチルアデノシン含有 RNA 結合活性およびリボソーム結合活性を活性化する。mRNA の不安定化、翻訳開始の正の調節、ストレス顆粒の組み立てに関与する。P ボディおよび細胞質ストレス顆粒に局在する。[Alliance of Genome Resources 提供、2022 年 4 月]

研究分野

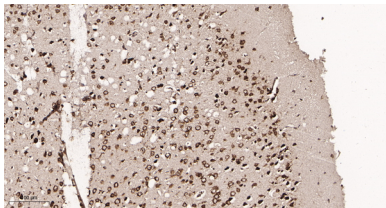
画像データ



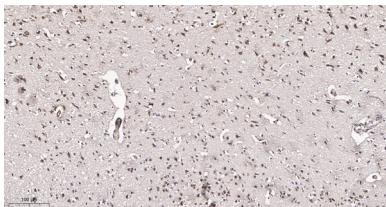
MCF7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析 (YTHDF1 ウサギ mAb を使用)。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用しました。



パラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学分析。1、YTHDF1 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋マウス脳組織の免疫組織化学分析。1、YTHDF1 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋ラット脳組織の免疫組織化学分析。1、YTHDF1 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。